

## 42 ミヤコドリ

(チドリ目)

*Haematopus ostralegus*

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

本州、四国、九州では稀な冬鳥、北海道、沖縄では不定期に渡来する。兵庫県では極めて稀で、1月、9月などに記録がある。干潟、河口、砂浜などに生息し、貝類を好む他、カニ類やゴカイ類、昆虫類も採食する。



写真提供: 正井憲一

### 国内分布

北海道、南千島、本州、舩倉島、四国、九州、対馬、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

### 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

(神戸市)、西宮市、(芦屋市)、(加古川市)、高砂市



### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

### 県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

瀬戸内海沿岸では極めて稀に単独個体が記録されるが、日本海側では確認されていない。生息状況がよくわかっていないことから、要調査とした。

### 保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、干潟や河口などの自然環境の保全および再生が必要。